




ふじしろ政夫と共に市政を変える会ニュース

発行 ふじしろ政夫と共に市政を変える会    2009年2月号

〒273-0122 鎌ヶ谷市東初富5-24-50

TEL & FAX 047-445-9144

Eメール masao.fujishiro@zc.wakwak.com

ホームページ <http://e-kamagaya.com/>

アメリカを中心とする世界経済秩序の崩壊！

神野直彦さん語る

アメリカの金融破綻から世界中の大不況が引き起こされています。2009年の現状をどう捉えるべきか。示唆する点が多い神野さんの講演内容をお伝えします。(文責ふじしろ)

“2008年の世界経済”という題で、神野教授が講演しました。(08,12/20)

2008年の金融破綻と、株価の大暴落、实体经济の失速は「アメリカを中心とする経済秩序が最終的に崩壊することを意味している」と状況を鋭く指摘しました。

ガルブレイスの「歴史の教訓を学ばない者は、過去の過ちを繰り返す」という言葉を引用し、1929年の大恐慌への対応の失敗が第二次世界大戦に至ったことを示し「来るべき戦争を回避できるか、来るべき戦争となるのかが今日的課題です」と語りました。そして「クライシス(岐れ道)は新しい経済構造と、新しい経済秩序をつくっていかなければ、破局へと進むだけ」と厳しく現実を分析しました。「アメリカ中心のシステムはすでに最終局面に入り、多くの国々は新たな世界秩序を模索しています(仏サルコジ「\$の時代は終わった」)が、日本政府はアメリカの\$秩序を守ると表明しました」「\$体制を維持するには日本は毎年米国債を30兆円買い続けなければならない」と状況への的確な対応の必要性を示しました。神野教授は“終わりの始めと終わり”の現状を「自然資源の多量な浪費の重化学工業のいき詰まりが、1973,9,11(アジェンダ惨殺)から石油ショックとブレトンウィッツ体制の崩壊という形で進行し、スタグフレーションと国際的過剰資金を生み出し破局の2001,9,11そして崩壊の2008年を迎えている」と分析しました。

更に今の日本の状況を批判的に説明しました。「いまも『小さな政府・改革なくして成長

なし」と言い改革が貧困をつくり出し、過剰な豊かさをつくり出したのが分かっていない」「社会への信頼関係が崩れ始めている。市民的基盤をつくる為には『公共サービス』を市場で買うものではなく、互いに分かちあう(水平的配分)ものという方向に転換しなければならない」と…。医療・介護・教育・障がい者支援を市場原理で行なう日本の格差と貧困率の高さを、公共サービスを分かち合うものとするスウェーデンとの違いで説明しました。

最後に働く者への社会的セーフティネットのあり様として、① 基礎的所得は保障する。ベーシックインカム(オランダ)、② 社会保障がほしいなら働いてください。(障がい者の就労支援・日本)、③ 仕事をする為のウェルフェア(福祉)(スウェーデン)を示し、私たちの選ぶべき道は知的産業、サービス産業へ対応できるような、新たな秩序形成のためのウェルフェアであると示しました。

講演を聞いて新秩序を国内にも国際的にもつくりきれなかった時、それはファシズムであり戦争へと導かれると言う歴史を学ぶなら日本は一日も早く市場原理主義の新自由主義と

決別し、互いに助け合う自立した市民の秩序・経済秩序を作っていく必要があると感じました。



日比谷公園の派遣村



国史跡下総小金中野牧跡保存管理計画」最終案決定

07, 10/30 から文化庁、県庁の方々をオブザーバーに迎えて6回の委員会が開かれ、保存管理計画が策定されました(09, 1/16)



野馬土手、捕込の現状とそれらの文化的歴史的又、自然環境の意義が語られ、これからの保全管理方法が記述されています。

整備活用の基本的考えとして「来訪者が自然の中を散策しながら郷土の歴史的意義を理解し、往時を追体験できるような公開活用をめざし…全国に誇りうる地域の財産として…市民参加の管理運営活用を推進していく」と。

そして活用について「地域のアイデンティティを確立し、鎌ヶ谷のシンボルとして個性ある街づくりを進める上で重要な要素としていかしていく」と、その方向性が示されています。

策定委員の方々からは委員会最後にあたり高埜教授は「全国に向けて『鎌ヶ谷と言えば捕込』と発信していく必要性があります」と。秋山教授は「観光の中に捕込を！更に広めて行きたい」。千葉県庁文化財課からは「千葉遺産100選」を指定しその中に小金中野牧が選ばれました」と。それぞれの感想を話されました。

そして「すばらしい内容の計画が出来ました。内容に恥じない活用を！」と河原委員長から期待のメッセージが語られました。

“議員の自治会長兼任禁止”の陳情

～休会中の継続審査する 総務常任委員会～

“議員が自治会などの長(役員)に就任しない”旨の規定を鎌ヶ谷市の政治倫理条例に入れるようにとの陳情に対し、「役員」の定義について、あるいは倫理条例に入れるべきか否かが議論されました(1/16)。鎌ヶ谷市の政治倫理条例3条1項3号では『認可・契約・補助金交付に関し地位による影響を不正に行使しないこと』と行為そのものへの規定になっています。

議員が補助・助成あるいは委託を受ける団体の長になることを規制することによって行政へのチェック機能を果たすべき議員の責務が全うできるのでは…と積極的に規定すべきと

いった意見のある一方、任意団体の長になるかを制限するのはよくないという意見も出ました。約1時間半ほどの議論の末、再び次回へ継続となりました。

執行部の説明の中で、補助金交付団体である“自連協”と“単位自治会”とは、まったく別であるかの説明はわかりづらいものであり、もっと明確に説明すべきでは？と思われました。

平和と文化の集い in 四街道

～～ 核兵器廃絶平和都市宣言 25 周年 ～～

四街道では市民と市と教育委員会共催で、核兵器廃絶平和都市宣言 25 周年の集いがありました。(08, 12/21)

中学生の吹奏楽演奏でオープン。堂本知事、広島・長崎市長のメッセージのあと、米国の詩人アーサービナードさんの講演、盲学校生「陽炎」による太鼓や声楽家沖さんによる「一本の鉛筆」の独唱、市原悦子さんの朗読とお話などと盛り沢山の内容でした。

アーサービナードさんは、第五福竜丸が焼津港に帰れたのは米軍との闘いに勝利したからであったと、事件のその本質に迫らないとその意義がまったく把握できないと指摘しました。そして「戦争に勝つことは負けることと同じように『とんだ災難』だ」(アガサクリスティ)と“ヒロシマ・ナガサキ”で勝った米国の現状は戦後60 数年戦争をし続けるという『とんだ災難』だと語りました。



鎌ヶ谷市平和記念像

最後に全員で「平和アピール」をしました。

お知らせ

- ★ 水俣病から半世紀 上映会 アミュゼ柏 2/14(土) 18:20～前売り1000円
- ★ 格差社会の中に生きる憲法25条+9条 二宮 神戸大教授講演 無料 2/14(土) 14:00 ホテルプラザ菜の花
- ★ 『市民自治』“二元代表制と市民参加” 2/25(水) 中央学院大 19:00～ 1000円

きょうどう事務所とらい 案内

- 法律弁護士無料相談(要予約 ふじしろ迄) 2/21(土)・3/28(土)・4/25(土) 13:00～
- 碁楽会：毎週金曜日 13:00～

